

蔵前工業会埼玉県支部 2017 年度第 1 回幹事会議事録

日時：2017 年 7 月 8 日（土）17:30～20:00

場所：シーノ大宮センタービル 7 階・生涯学習センター講座室 3

出席予定者：15 名（舟田、小田、安田、関谷、武笠、石井、吉田、河面、利根川、菊池、平原、竹内、沼野、落合、佐藤）

欠席予定者：1 名（矢嶋）

当番：（司会）舟田、（書記）小田

（敬称略）

1. 活動報告及び 2017 年度事業計画

（1）2017 年度支部目標確認（舟田）

（支部総会 議案第 4 号：2017 年度埼玉県支部活動方針報告 舟田支部長）

→ 支部総会で報告・承認された「2017 年度蔵前工業会支部目標確認」の内容について確認された（添付資料 1 参照）。なお、俳句同好会については、（7）に後記。

（2）総務（小田）

1) 2017 年総会の報告と改善点

- ・日時：2017 年 5 月 27 日（土）13:15～14:30
- ・場所：大宮ソニックシティビル 806 会議室
- ・出席者：36 名（支部会員 34 名、来賓 2 名）
- ・来賓：植松友彦東工大副学長（情報基盤担当）、関 誠夫蔵前本部業務執行理事
- ・総会：以下の 4 議案が審議され、原案通り承認・決議

議案第 1 号（報告事項）：2016 年度埼玉県支部事業報告、決算報告及び監査報告

議案第 2 号（決議事項）：2017 年度埼玉県支部役員人事（案）及び次期埼玉県支部代議員（案）

議案第 3 号（決議事項）：2017 年度埼玉県支部事業計画（案）及び予算計画（案）

議案第 4 号（報告事項）：2017 年度埼玉県支部活動方針報告

< 主な役員の人事異動 >

支部長	平原 照晏 (S41 修化工) → 舟田 饒 (S46 修電)
副支部長	舟田 饒 (S46 修電) → 小田 邦幸 (S49 修化)
会計担当幹事	舟田 饒 (S46 修電) → 安田 健一郎 (S56 経工)
監事	菊池 昭武 (S31 機) → 平原 照晏 (S41 修化工)
県央担当幹事	大石 修二 (S45 応化) → 竹内 和久 (S43 制御)

< 次期埼玉県支部代議員（任期 2 年：2018 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日） >

舟田、小田、佐藤、大石（県央地区会員）

参考：現埼玉県支部代議員（任期 2 年：2016 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日）

石井、小田、大石、佐藤

- ・報告：蔵前本部・本房事務局長へ議事録送付、支部ホームページへ掲載（河面）、

蔵前ジャーナル 2017 盛夏号（発行日：8/1）へ投稿

→ 上記内容について確認された。

2) 2018年新年会

- ・日程：2018年1月27日（土）（仮予約済み）
- ・時間：12:00～15:00（受付11:30～）（例年より30分延長）
- ・会場：ブリランテ武蔵野2F サファイア（昨年の会場）
- ・概要：第2回幹事会（9/30（土））にて協議予定

→時間に余裕をもたせるため、例年より30分延長して会場を予約しているが、支部会員への案内においては、従来と同じ14:30までの記載とすることになった。

3) 2018年総会

会場予約抽選日：2017年11月1日（水）9:00am（ソニック5F）

→予約抽選参加者（2名）は、第2回幹事会（9/30（土））にて協議することになった。

4) 蔵前工業会埼玉県支部運営の目安（小田）

→以下の通り、「蔵前工業会埼玉県支部運営の目安」を更新することになった（添付資料2参照）。

- ・幹事会の議題案の作成は総務担当幹事が担当する。
- ・幹事会の司会は当日出席者の持ち回り、書記は総務担当幹事が担当する。
司会の順番：舟田、安田、関谷、武笠、石井、吉田、河面、利根川、菊池、平原、竹内、沼野、落合、佐藤、矢嶋
- ・幹事会の飲食費は、弁当持ち込み禁止に伴い出席者に1,000円/名を支給する。
- ・印刷費補助金は、“くらりか”と同様内容でアップする。
- ・同好会の新設について
→菊池特命担当幹事（同好会担当）から、支部発足当時5つの同好会（謡曲、絵画、俳句、囲碁、ゴルフ）の設立が検討され、謡曲を除く4つの同好会が設立されて現在に至っているが、俳句同好会については、参加者減少のため休会を検討していることから、支部会員に新たな同好会の新設について呼びかけることが提案された。小田総務担当幹事から同好会新設には支部総会に諮る必要はないが、補助金3万円を支給していることもあり、幹事会で協議するための同好会新設申請書等について提案され、一部修正した上で支部ホームページに掲載することになった。

(3) 企画（関谷・武笠・石井・吉田）

1) 2017年総会後の講演会および懇親会の報告と改善点（武笠）

<講演会>

- ・講師：林直亨氏（東工大リベラルアーツ研究教育院教授、医学博士）
- ・演題：「リベラルアーツ教育としての健康と運動」
- ・参加者：45名（支部会員34名、来賓3名、如水会埼玉県支部会員8名）

<懇親会>

- ・会場：総会・講演会と同会場
- ・参加者：29名（支部会員26名、来賓3名）

→上記内容について確認された。

2) 2017 年度講演会・見学会年次計画（武笠）

(i) 2017 年 11 月？

→講師候補の相馬史令子氏については、JAXA に籍がなくなった可能性もあり、東工大 OB の森 治氏（イカロスプロジェクトリーダー）と調整中であるが、森氏からは、「IKAROS」の内容で 8 月の平日 60～90 分の講演についての提案があり、また、JAXA から講師派遣の場合は、平日開催に限定されるとの状況がある。そのため、平日開催を可とし、土日開催の可能性も含めて講演時間、講演内容及び開催時期等について、森氏との調整を継続することになった。

(ii) 2017 年 10 月 7 日（土）午後（ソニックビル 804 会議室）（吉田）

講師候補：東工大地球生命研究所 丸山茂徳特命教授（再講演）

→2017 年 2 月 25 日（土）の講演（演題：「生命と地球環境の共進化」）が好評のため、丸山氏の再講演となった。2 月の講演会出席者に講演内容の要望を聴取したが特に回答がないことから、幹事からのみならず地区担当幹事を通して各地区の会員の要望を聴取して吉田幹事に報告することになった。

(iii) 2018 年 2 月（武笠、吉田）

講師候補：東工大放射線総合センター 実吉敬二准教授

→スバル「アイサイト」の衝突回避自動ブレーキ制御システムの開発者である実吉准教授を有力講師候補として、講演内容も含めて他の講師候補の可能性も検討することになった。

(iv) 見学会（関谷）

→関谷企画担当幹事から、くらしか等の諸活動のため土日の支部活動への参加は困難な状況にあるとの説明があり、見学会は平日開催とし、幹事会からも見学候補先を募って見学候補先を探すことになった。

3) 蔵前如水会埼玉県支部合同講演会・懇親会（武笠、吉田）

→如水会側が講師選定の困難性等の問題のため消極的な状況にあることから、本年の開催は断念して来年の開催を目指すことになった。そのため、例年秋に開催される如水会埼玉県四支部合同例会等の機会を利用して如水会埼玉県 4 支部の幹事と接触し、適宜来年の合同講演会開催について情報交換することになった。

(4) 5 地区（竹内・沼野・落合・佐藤・矢嶋）

1) 県央（竹内）

→支部活動の情報発信ツールとしてメルマガを県央地区会員宛てに送信したが、2 名が送信不可となる等メールアドレスの変更者が多く困っているとの報告があり、石井幹事から、県東地区での経験として、往復葉書よりも電話で直接コンタクトするのが効果的であるとの助言があった。

2) 県東（沼野）

→県東地区の活動実績と計画（案）についての報告があり（添付資料 3 参照）、高齢化と若い人の参加が殆んどない等のため懇話会への参加者が減少傾向にある。次回開催予定の懇話会について、他地区担当幹事から自地区の会員にも開催案内を行うことになった。

3) 県西（落合）

→県西地区での活動については、特に報告なしとのことであったが、機会工学の同窓会組織「白星会」から東工大が出場するコンテスト2件(アジア太平洋ロボコン(8/27 大田区総合体育館)、読売テレビ主催「鳥人間コンテスト 2017」(7/30))の案内があり、落合幹事から幹事会MLにて各地区担当幹事へ白星会の案内メールを転送することになった。

4) 県南(佐藤)

→県南地区の委員との会合を開催する予定との報告があった。また、県南地区のMLには100名余の会員が登録されており、支部の講演会等への参加申し込みは少ないが、参加不可等の回答メールがあり、継続的な情報発信が重要であるとの意見が出された。

5) 県北(矢嶋:欠席)

(5) 支部ホームページ(河面)

→特に報告なしとのことであったが、幹事からホームページへの掲載依頼があれば対応するが、写真については、容量を考慮して削減することもあるとの説明があった。また、支部HPへのアクセスは、平均して2~3人/日であり、同じ人が同じ日に連続してアクセスした場合はカウントゼロ、同じ日に別の人を介してアクセスした場合はカウントされるとのことであった。

(6) くらりか(利根川)

→西武沿線地区でのくらりか会員の新規参加により、所沢等でも開催されることになり、埼玉県で110回/年程度のくらりか教室を開催する予定との報告があった。

(7) 俳句・ゴルフ・囲碁同好会(菊池・小田)

1) 俳句同好会(菊池)

→俳句同好会は、支部発足時から活動してきたが、近年高齢化や転居等のため本年4月からは2名で公民館等にて句会を開催しており、メールでの投稿も行ってきたが、蔵前ジャーナル投稿用の俳句を2名で選ぶ選句作業を継続するのは困難であること等の理由から、当面は休会して参加者を増やすことを検討することになった。

2) ゴルフ同好会(菊池)

→毎回15~16名程度が参加しており(如水会から4~5名)、本年度は、以下の通り埼玉県内ゴルフ場で年4回開催する予定との報告があった。

- ・第1回(第146回)4月14日(金) ノーザンカントリークラブ錦が原ゴルフ場
さくら草コース(参加者:14名)
- ・第2回(第147回)6月9日(金) 大麻生ゴルフ場(参加者:17名)
- ・第3回(第148回)9月8日(金) 吉見ゴルフ場(5組参加予定)
- ・第4回(第149回)10月13日(金) ノーザンカントリークラブ錦が原ゴルフ場(5組参加予定)

3) 囲碁同好会(小田)

→東工大卒業生以外の会員も多いため、月1回の例会に15名前後の参加者があり、本年度は、改良工事が終了した埼玉会館にて毎月第三土曜日に例会を開催する予定との報告があった。

2. 予算・会計

(1) 会計運用方法の改善策(安田)

→舟田前会計担当幹事の後任として、これまでと同様に会計を運用するとのことであった。

(2) 2017年度分の支部補助金支給（安田）

→「蔵前工業会埼玉県支部運営の目安」（添付資料2）に基づいて、幹事及び同好会に対する年間活動補助金及び今回の幹事会飲食費が幹事に支給された。

3. その他報告等

(1) 蔵前本部定時総会（6/7）出席報告（佐藤）

→大石県央地区会員と蔵前本部定時総会に参加し、総会では、本部活動報告、予算執行実績報告、予算案等が審議・承認されたこと、また学生の自主申告による海外留学（1件）（専門領域の拡大）及び英語トレーニング（1件）（国際会議への対応）の補助申請に対する本部からの金銭的補助（金額非開示）がなされたことについての報告があった。

4. 次回幹事会の日程（小田）

- ・開催日時：9月30日（土） 17:30～19:30
- ・場所：シーノ大宮講座室3
- ・議題：講演会、見学会、新年会等（予定）

以上

<添付資料1> 2017年度蔵前工業会支部目標確認

1. 埼玉県支部組織と運営の継続

- (1) 埼玉県支部5地区（県央、県東、県西、県南、県北）のさらなる活性化と同好会（ゴルフ、俳句、囲碁）の支援（補助金支給等）
- (2) 伝統行事の継続（新年会、総会、講演会、見学会）

2. 他組織との連携

- (1) くらりか埼玉県支部（補助金支給等）
- (2) 如水会埼玉県支部（合同例会・新三木会への参加、蔵前如水会埼玉県支部合同講演会の開催等）（新三木会：毎月第3木曜日に如水会館等にて開催される講演会（有料））

3. 母校への貢献

- (1) くらりか埼玉県支部支援による間接的母校支援及び東工大基金への寄付
- (2) 留学生支援（新年会への招待スピーチ・落合基金）
- (3) 母校学生の支部行事への参加案内（新年会・講演会開催案内の学内掲示）

4. 支部会員間交流

- (1) 新年会、講演会、見学会、懇親会（講演会後、総会后）
- (2) 地区の散策会・懇談会：相互に他地区行事参加

<添付資料 2 >

蔵前工業会埼玉県支部運営の目安

作成日：2016年7月2日

更新日：2017年7月8日

これは、蔵前工業会埼玉県支部規程を補完し、支部活動を適正且つ円滑に運用するために幹事会にて協議し、決定した支部運営の目安であり、支部ホームページの「幹事会のページ」（幹事会メンバー専用）に掲載し（総務担当幹事は別途保管）、必要に応じて幹事会にて協議し、適宜更新することができるものとする。

1. 幹事会

1) 会場

会場は、原則シーノ大宮センタービル・生涯学習センター内の講座室とするが、予約できなかった場合は、幹事会にて適宜選定した他の会場とすることができるものとする。

2) 日程

- ・幹事会は、年に5回程度開催し（例：7月、9月、12月、2月、3月の土日祝日）、必要に応じて適宜増減することができるものとする。
- ・総務担当幹事は、幹事会の候補日時を幹事会 ML（全幹事のメーリングリスト）にて提案し、その結果を参考にして会場予約抽選の申し込みを行い、予約確定後に幹事会 ML にて通知する。

3) 議題

- ・支部長総務担当幹事は、幹事会開催前に議題（案）を幹事会 ML にて提案する。
- ・総務担当幹事は、各幹事からの意見・提案を基に議題（確定版）及び資料（確定版）を取りまとめて幹事会 ML にて通知し、幹事会開催当日に席上配布する。

4) 当番

- ・当番は、司会（1名）、書記（1名）、弁当（2名）及び飲料（1名）とし、総務担当幹事が前年度の当番履歴を参考にして出席予定幹事の中から適宜選任し、幹事会 ML にて依頼通知する。書記は総務担当幹事が担当し、司会は当番制とし、幹事会に出席した幹事（総務担当幹事を除く）が順番に担当する。
- ・お茶等のノンアルコール飲料は、出席者の自己判断にて適宜対応する。

5) 議事録

- ・書記当番の総務担当幹事は、幹事会終了後、以下の要領にて議事録（案）を作成し、幹事会 ML にて通知する。

<議事録の作成要領>

- ・議事録は、箇条書き等簡潔なものとする。
- ・議事録の表現は、正確な言葉の使い方や流暢な表現に必ずしもこだわる必要はないが、作成効率化のため、主な言葉の使い方を以下の通り統一する。

<主な言葉の統一>

司会者、議事録、第〇回幹事会議題、敬称略、幹事会 ML、蔵前工業会埼玉県支部、蔵前埼玉、蔵前本部、東工大、支部長、副支部長、〇〇幹事

書式変更：インデント：左：1字、ぶら下げインデント：1字、最初の行：-1字

書式変更：インデント：左：0 mm、ぶら下げインデント：2 字、最初の行：-2 字

・年号は、本部への提出資料等元号表記が必要な場合を除き、原則西暦表記とする。なお、元号で表記するときは、可能な範囲にて括弧付きで西暦を併記する。

- ・幹事会に出席した幹事は、議事録（案）について、脱落項目の追加、決定事項の誤記載の修正を主としてチェックし、加筆修正が必要な場合は幹事会 ML にて通知し、支部長が最終確認する。
- ・書記当番の総務担当幹事は、支部ホームページ担当幹事に幹事会専用ページへの議事録（確定版）の掲載を依頼し、総務担当幹事は、議事録（確定版）を別途保管する。

6) 協議・決定

- ・支部活動に大きな影響のある重要な議題については、幹事会を開催して協議し、決定することを原則とするが、協議する時間の余裕がない場合、又は比較的重要性の低い議題の場合は、幹事会 ML にて協議し、決定することのできるものとする。

2. 新年会

1) 会場

- ・総務担当幹事は、支部長、副支部長及び会計担当幹事と協議し、会場を選定・予約する。

2) 開催日

- ・1月若しくは2月初旬の土日祝日（大学入試センター試験日を除く）に開催する。

3) スケジュール、プログラム、役割分担、開催案内等

- ・スケジュール（案）、プログラム（案）、役割分担（案）及び開催案内状（案）（支部会員用（電子メール、葉書、支部ホームページ、蔵前ジャーナル）、来賓用（電子メール：東工大、蔵前本部、如水会埼玉県支部））は、総務担当幹事が作成し、幹事会にて協議し、決定する。なお、開催案内状（案）は、幹事会 ML にて確認し、決定することのできるものとする（支部長が最終決定）。
- ・総務担当幹事は、東工大・秘書室、蔵前本部・事務局長、如水会埼玉県4支部長、蔵前本部・蔵前ジャーナル担当者、地区担当幹事及び支部ホームページ担当幹事に開催案内状（確定版）を送付する。
- ・役割分担は、司会、写真、受付、パソコン、マイク、音響、日章旗、支部旗、東工大基金への募金等とし、適宜追加・削減する。
- ・地区担当幹事は、自地区の出席予定者を総務担当幹事に連絡し、総務担当幹事は、出席予定者名簿及び受付用名簿を作成する。

4) 新年会報告

- ・新年会開催報告記事（案）（蔵前ジャーナル投稿用、支部ホームページ掲載用）は、総務担当幹事が作成し、幹事会 ML にて確認する（支部長が最終確認）。
- ・総務担当幹事は、蔵前本部・蔵前ジャーナル担当者及び支部ホームページ担当幹事に新年会開催報告記事（確定版）を送付する。

3. 総会（講演会を同時開催）

1) 会場

- ・会場は、原則大宮ソニックシティビル内の会議室とし、適宜委任された幹事が6ヶ月前の会議室予約抽選会に参加し、予約手続きを行う。なお、会場の予約ができなかった場合は、幹事会にて適宜選定した他の会場とすることのできるものとする。

2) 開催日

・総会は、5月の土日祝日（東工大・ホームカミングデイの開催日を除く）に開催する。

3) スケジュール、プログラム、役割分担、開催案内等

・スケジュール（案）、プログラム（案）、役割分担（案）及び開催案内状（案）（支部会員用（電子メール、葉書、支部ホームページ、蔵前ジャーナル等）、来賓用（電子メール：東工大、蔵前本部、如水会埼玉県支部）は、総務担当幹事が作成し、幹事会にて協議し、決定する。なお、開催案内状（案）は、幹事会 ML にて確認し、決定する ことができるものとする（支部長が最終決定）。

・総務担当幹事は、東工大・秘書室、蔵前本部・事務局長、如水会埼玉県4支部長、蔵前本部・蔵前ジャーナル担当者、地区担当幹事及び支部ホームページ担当幹事に開催案内状（確定版）（如水会へは講演会の案内のみ）を送付する。

・役割分担は、総会資料作成（支部長：支部役員人事案、総務担当幹事：事業報告・事業計画案、会計担当幹事：決算報告・予算案、監査担当幹事：決算監査報告）、司会（原則副支部長）、議長（原則支部長）、書記（原則総務担当幹事）、写真、受付、パソコン、プロジェクター等とし、適宜追加・削減する。

・地区担当幹事は、自地区の出席予定者を総務担当幹事に連絡し、総務担当幹事は、出席予定者名簿及び受付用名簿を作成する。

4) 総会・講演会報告

・総会・講演会開催報告記事（案）（蔵前ジャーナル投稿用、支部ホームページ掲載用）は、総務担当幹事が作成し、幹事会 ML にて確認する（支部長が最終確認）。

・総務担当幹事は、蔵前本部・蔵前ジャーナル担当者及び支部ホームページ担当幹事に総会・講演会開催報告記事（確定版）を送付する。

4. 講演会・見学会

・企画担当幹事・企画担当特命幹事は、講演会及び見学会を企画・立案し、幹事会に提案する。

・講演会の会場は、原則大宮ソニックシティビル内の会議室とし、企画担当幹事・企画担当特命幹事は、会議室の予約手続きを行う。

・講演会・見学会の企画（案）及び開催案内状（案）（支部会員用（電子メール、葉書、支部ホームページ、蔵前ジャーナル）、来賓用（電子メール：如水会埼玉県支部）は、企画担当幹事・企画担当特命幹事が作成し、幹事会にて協議し、決定する。なお、開催案内状（案）は、幹事会 ML にて確認し、決定する ことができるものとする（支部長が最終決定）。

・企画担当幹事・企画担当特命幹事は、如水会埼玉県4支部長、蔵前本部・蔵前ジャーナル担当者、地区担当幹事及び支部ホームページ担当幹事に開催案内状（確定版）を送付する。

・講演会（総会時の講演会は除く）及び見学会の開催報告記事（案）（蔵前ジャーナル投稿用、支部ホームページ掲載用）は、企画担当幹事・企画担当特命幹事が作成し、幹事会 ML にて確認する（支部長が最終確認）。

・企画担当幹事・企画担当特命幹事は、蔵前本部・蔵前ジャーナル担当者及び支部ホームページ担当幹事に講演会・見学会開催報告記事（確定版）を送付する。

5. 寄付金

・外部から支部又は支部から外部への一般的な寄付金（「東工大基金」への寄付を含む。）については、

他の支部と同様に支部規程に定めることなく、その都度幹事会にて対応を協議し、決定する。

- ・ 支部への落合幹事の寄付金（新年会に招待した海外留学生の支援のための寄付金）については、会計担当幹事が支部経費と同じ銀行口座にて一括管理するが、収支については、支部新年会に招待する海外留学生向けの「落合基金」として別管理する。

6. 慶弔費

- ・ 慶弔費については、他の支部と同様に支部規程に定めることなく、その都度幹事会にて対応を協議して決定することとし、協議する時間の余裕がない場合は、支部長が適宜決定の上、幹事会へ通知（電子メール・電話等）する こととする。なお、慶弔費は、原則支部の活動に大きな貢献をした役員（退任役員を含む）の逝去に対する弔慰金（目安 5,000 円程度）のみとする。

7. 交通・通信費・飲食費

- ・ 交通・通信費の補助については、他の支部と同様に支部規程に定めることなく、年度初めに幹事会構成メンバーの交通費のデータを適宜参考にして幹事会にて協議し、決定する。
- ・ 交通・通信費の補助は、当面 2015 年度幹事交通費の収支データを参考にして、支部長、副支部長、幹事及び監事は、5,000 円/年（但し遠隔地の幹事は 10,000 円/年）とする。
- ・ 県外での支部活動に参加する場合は、その都度幹事会にて協議し、決定する。

- ・ 飲食禁止の会場で、昼食又は夕食時間帯に幹事会を開催する場合は、出席者に 1,000 円/名を支給する。

書式変更：両端揃え、インデント：左：0 mm、ぶら下げインデント：1 字、最初の行：-1 字

8. 印刷費

- ・ 支部活動に伴う資料印刷代は、“くらりか”と同様に以下の金額を支払うこととし、コンビニ等自宅外でコピーする場合は、領収書にて清算する。

白黒：B5、B4、A4、郵便はがき： ~~35~~ 円/枚、 A3： ~~5102~~ 円/枚

カラー：B5、B4、A4、郵便はがき： ~~1530~~ 円/枚 A3： ~~30602~~ 円/枚

両面印刷：2 倍の金額

- ・ 印刷代の請求は、会計担当幹事にその都度又は纏めて明細（使途、印刷の種類、枚数、金額）を連絡する。

9. 同好会の新設

支部では、「俳句同好会」、「ゴルフ同好会」及び「囲碁同好会」の3件の同好会が支部の事業として活動しているが、趣味を共有する支部会員が、支部の事業として新たに同好会の新設を希望する場合は、以下の手続きを行う（支部ホームページに公開）。

(1) 新設を希望する同好会の構成員は10名以上（過半数以上を支部会員）とし、代表者1名（支部会員）を選出する。

(2) 代表者は、別紙様式「蔵前工業会埼玉県支部同好会新設申請書」に同好会の名称、設立趣旨、構成員及び年間活動計画等を記載し、電子メールにて支部長に送付する。支部長は、受領した申請書を幹事会に諮問する。（電子メールの宛先：info@kuramae-saitama.versus.jp）

書式変更：両端揃え、間隔 段落前：0 pt、段落後：0 pt、改ページ時 1 行残して段落を区切る

書式変更：フォント：(英) Century, (日) MS 明朝, 10.5 pt

書式変更：インデント：最初の行：0.5 字

書式変更：両端揃え、間隔 段落前：0 pt、段落後：0 pt、改ページ時 1 行残して段落を区切る

書式変更：両端揃え、間隔 段落前：0 pt、段落後：0 pt、改ページ時 1 行残して段落を区切る

変更されたフィールド コード

(3) 幹事会は、同好会新設について支部規程第4条（事業）（5）に定める支部会員相互の親睦を深めるための事業に該当するか否か協議し、決定する。

(4) 支部長は、幹事会の決定（仮許可又は不許可）を代表者に通知する。

(5) 代表者は、仮許可の場合、仮許可通知受領後1年間を試行期間として自主的に自己の費用負担にて同好会を運営する。

(6) 代表者は、試行期間経過後、試行期間の実績を電子メールにて支部長に報告する。支部長は、同好会の新設可否を幹事会に諮問する。

(7) 幹事会は、試行期間の実績を基に支部の事業として許可するか否か協議し、決定する。

(8) 支部長は、幹事会の決定（許可又は不許可）を代表者に通知し、許可決定の場合は、支部ホームページに公開し、次期総会に報告する。会計担当幹事は、同好会活動補助金を適宜代表者に支給する。

(9) 代表者は、支部長、総務担当幹事、会計担当幹事又は特命担当幹事（同好会担当）から同好会に関する問い合わせがあった場合、同好会の活動計画・実績、補助金の使用状況等を電子メール又は幹事会にて報告する。

別紙様式「蔵前工業会埼玉県支部同好会新設申請書」

年 月 日

蔵前工業会埼玉県支部同好会新設申請書

蔵前工業会埼玉県支部長殿

申請者（代表者）

氏名（卒年科）：

連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）：

書式変更：右揃え

書式変更：フォント：12 pt

書式変更：中央揃え、インデント：左：0 mm、ぶら下げインデント：1 字

書式変更：左揃え

書式変更：左揃え、インデント：左：1 字、最初の行：25 字

以下の通り、蔵前工業会埼玉県支部同好会の新設について申請します。

1. 同好会の名称
2. 同好会の設立趣旨
3. 同好会の構成員
4. 同好会の年間活動計画
5. その他

以上

書式変更：右揃え

書式変更：フォント：太字（なし）

書式変更：左揃え

書式変更：フォント：太字（なし）

<注>

1. 「同好会の設立趣旨」の欄には、同好会設立の背景・目的等を記載して下さい。
2. 「同好会の構成員」の欄には、代表者を除く全構成員の氏名、卒年科を明記して下さい。なお、蔵前工業会の会員以外の構成員は、卒年科の記載は不要です。
3. 「同好会の活動計画」の欄には、本申請後1年間の活動計画（活動場所、活動内容等）の概要を記

載して下さい。

4. 「その他」の欄には、支部へのご要望等特記すべき事項がありましたら記載して下さい。

書式変更：左揃え

5. 本申請書に記載された個人情報は、支部活動の目的のみに使用します。

以上

<添付資料3>

2017/7/08

県東地区 沼野

県東地区の2016年度活動実績と2017年度計画(案)について

1. 平成28年度活動実績等

	月日時間	題名	話題提供者	備考
第1回	H28/7/10(日) 18:00~	懇話会 『最近の品質問題とその防止策について』 場所：シーノ大宮生涯学習総合センター講座室1	鷺谷武明氏 (S59 金属)	参加者 9名
第2回	H28/10/29(土) 13:30~	懇話会 『エアバッグ なぜタカタだけリコール となったのか』 『日本の財政状況と年金、介護、医療問題』 場所：シーノ大宮生涯学習総合センター講座室1	富士原英明氏 (S37 機械)	参加者 7名
第3回	H28/12/13(火) 13:30~	見学会 JR東日本 大宮総合車両センター	見学会	参加者 11名
第4回	H29/3/25(土) 14:00~	懇話会 『親日国家インドでの日系企業のものづくりと駐在員の生活』 場所：シーノ大宮生涯学習総合センター講座室1	見城安彦氏 (H5 機、H7 修機)	参加者 9名

2. 平成29年度活動計画案

来年度の計画については、従来からの県東地区の基本方針として、

- ・ 年間で4回程度の例会(行事)を開催する。
おおむね、懇話会3回、見学会または散策等1回を目途に行う
- ・ 支部行事(新年会、総会、講演会、見学会など)とのラップを避ける。

	月日時間	題名	話題提供者	備考
第1回	H29/6/24(土) 13:30~	懇話会 『もっとよく知る認知症と老化』 場所：シーノ大宮生涯学習総合センター学習室2	富士原英明氏 (S37 機械)	参加者 8名
第2回	H29/9/10(日) 13:30~	懇話会(予定) 題名：『最先端技術ベンチャーの挑戦』 場所：シーノ大宮生涯学習総合センター講座室1	天貝佐登史氏 (52 制御 54 修シス)	予定

第3回	H29/11～12月頃	散策、見学会		未定
第4回	H30/2～3月頃	懇話会 場所：シーノ大宮生涯学習総合センター		未定

(課題)

- ・ 懇話会の場所の確保（週末の午後を前提）、夜間の場合は取りやすいが、夕食の問題。
- ・ 話題提供者と参加者を増やすための魅力ある環境作り。

書式変更： フォント：10.5 pt, 太字
(なし)